

平成24年度 全国犬・猫飼育実態調査 結果

**犬・猫 推計飼育頭数全国合計は、2年連続でほぼ横ばいの21,282千頭
(犬：11,534千頭、猫：9,748千頭)**

非飼育者の今後の飼育意向は現在の飼育状況の約1.8倍あり、将来の伸びに期待。

ペットフードの事業者を中心とした98社（正会員67社、賛助会員31社）で組織する一般社団法人ペットフード協会【東京都千代田区、会長：越村義雄】は、平成24年度全国犬・猫飼育実態調査を行ない、この度その結果がまとまりました。主な結果は次の通りです。

1. 平成24年度 全国犬・猫 推計飼育頭数

全国の推計飼育頭数

犬：11,534千頭、猫：9,748千頭。

	世帯数 (単位：千)	飼育世帯率	飼育世帯数 (単位：千)	平均飼育頭数	飼育頭数 (単位：千)
<犬>	54,171.5	16.8%	9,082	1.3	11,534
<猫>	54,171.5	10.2%	5,539	1.8	9,748

尚、猫の頭数調査結果には外猫の数は含まれておりません。

2. 平成24年度及び平成23年度 現在飼育率/飼育意向率

今後の飼育意向は犬が30.4%、猫が18.2%で、飼育意向のある人の数は、犬・猫共に現在の飼育している方の数の約1.8倍に達することがわかりました。これは犬猫に関するペット市場の大きな潜在需要があり、飼育意向のある方々が犬あるいは猫を飼育できるような環境の提示・提案を行うことによって、将来に向けて飼育頭数拡大が期待できます。

	犬	猫
平成24年度現在飼育率	16.8%	10.2%
平成24年度飼育意向率	30.4%	18.2%
平成23年度現在飼育率	17.7%	10.3%
平成23年度飼育意向率	33.1%	18.7%

3. 平成24年度 犬猫の年代別現在飼育状況

50才代での犬及び猫の飼育率が最も多く、次いで60才代で飼育率が高いことから、高齢層でのペットのニーズの強さが見えます。また30才代での犬及び猫の飼育率が少ない結果

となっています。

	犬	猫
全年代	16.8%	10.2%
20代	14.8%	9.1%
30代	13.3%	8.2%
40代	16.1%	10.3%
50代	21.4%	12.1%
60代	18.2%	11.3%

4. 平成24年度 ペットフードのタイプ別利用率（複数回答）

犬猫共に市販のドライタイプのペットフードの利用が9割近くあり、ほとんどの飼育者が何らかの市販のペットフードを利用しています。一方で犬の飼い主の約23%、また、猫の飼い主の約10%が市販のペットフード以外もペットに与えていることが解りました。

ペットフードのタイプ	犬	猫（外猫を除く）
市販のドライタイプ	87.9%	94.7%
市販のウェットタイプ	25.6%	51.7%
市販の半生タイプ	17.6%	11.3%
市販のおやつ	33.4%	17.2%
手作りのペット用食事	13.5%	5.0%
人間の食事の残り	9.7%	4.8%
その他	3.9%	5.2%

5. 平成24年度 犬・猫平均寿命

犬全体の平均寿命は13.9歳、猫全体の平均寿命は14.5歳でした。犬は、超小型犬、小型犬の寿命が長くまた、猫の場合、「家の外に出ない」猫の平均寿命は15.7歳、「家の外に出る」猫の平均寿命は12.3歳と寿命に大きな差あることが分りました。猫の場合、「家の外には出さない」飼い主の方のほうが、家族の一員として猫とより長く暮らすことができると言えます。

6. 平成24年度 地域別飼育率

地域別飼育率では、犬は、最も高かった地域は北関東（20.6%）、次いで四国（20.3%）、中部（19.3%）の順でした。また、最も低かった地域は京浜（首都圏）（13.9%）で飼育率を増や

すことが出来る可能性が最も高い地域と言えます。

猫は、最も高かった地域は甲信越（12.8%）、次いで北関東（12.4%）、東北（12.0%）の順でした。また、最も低かった地域は関西（8.7%）で、関西が飼育率を増やすことが出来る可能性が最も高い地域と言えます。

7、犬の役所への届出・登録及び予防接種実施の地域別状況

過去10年間に飼育した犬の役所への届出・登録は全国では81.3%が実施しております。

地域別に見ると、最も高かった地域は甲信越（91.0%）、次いで東北（87.7%）、北陸（85.3%）、中部（84.6%）、京浜（83.5%）、北海道（80.8%）、北関東（79.0%）、中国（78.9%）、関西（77.3%）、九州（76.8%）、四国（72.2%）の順でした。

また、1年以内に予防接種をしたのは次の通りです。

① 狂犬病：全国では、81.6%です。

地域別に見ると、最も高かった地域は北陸（95.0%）、次いで中部（90.0%）、京浜（88.1%）、甲信越（84.6%）、東北（82.8%）、関西（80.1%）、四国（77.4%）、北関東（76.9%）中国（74.6%）、北海道（72.3%）、九州（70.3%）の順でした。

② 混合ワクチン：全国では、66.7%です。

地域別に見ると、最も高かった地域は京浜（75.7%）、次いで北陸（70.0%）、関西及び九州（68.5%）、中部（65.5%）、東北（64.1%）、北関東（61.5%）、中国（61.0%）、北海道（59.6%）、四国（54.8%）、甲信越（48.7%）の順でした。

③ フィラリア：全国では、68.4%です。

地域別に見ると、最も高かった地域は北陸（80.0%）、次いで中部（76.4%）、関西（72.6%）、京浜（71.4%）、甲信越（69.2%）、九州（68.5%）、北関東（63.1%）、四国（61.3%）、東北（60.9%）、中国（59.3%）、北海道（51.1%）の順でした。

④ ノミ・ダニ予防：全国では、40.1%です。

地域別に見ると、最も高かった地域は京浜（51.0%）、次いで中部（42.7%）、九州（42.3%）、関西（40.4%）、北陸及び北関東（40.0%）、四国（35.5%）、東北（29.7%）、中国（28.8%）、甲信越（28.2%）、北海道（21.3%）の順でした。

以上